

令和2年12月2日(水)

工業科の教科指導法に関する研修

- テーマ：工業科科目「課題研究」の指導法
- 講師：石川県教員総合研修センター指導主事 安藤 欣司 氏
- 受講者：本校工業科教員
- 内容：講義(課題研究のすすめ方)・演習・質疑応答

講義では、新学習指導要領における科目「課題研究」の位置づけと目指す資質・能力、指導上の留意事項を分かりやすく解説していただきました。また、演習では授業づくりの重点項目をペアワークで復習しました。その後、ワークシートを利用し、ポイントの最終確認をしました。

【受講者の感想】

A 教諭

課題研究とは、工業科の原則履修科目であるほか、「総合的な探究の時間」の代替科目としても位置づけられており、その目標は、生徒が工業的見地より実践的、体験的な学習活動を行い、職業人として必要な資質能力を育成することとされている。

本校においても3年生を対象に実施し、生徒の主体性、協働性及び問題解決能力のさらなる向上を図り、工業高校生活の集大成とすることを目指していることから、機械科教諭である私も適切な指導が行えるよう、知見を深めていきたい。

B 教諭

本日の研修を通して科目としての課題研究について理解が深まった。今後課題研究を進めていくにあたり、

- ① 生徒自身が適切な課題を設定すること
- ② 過程において発表する機会を設けること
- ③ 生徒の創造性を引き出すこと
- ④ PDCA サイクルを用いて研究内容の理解を深めること

以上4点を考慮し、3年間の学習の集大成としてより良い取組みになるよう指導支援に努めたい。

